

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 644 号

2015年 2月 1日

発行

アスカ工業株式会社

〒444-0303

西尾市中畑町卯新田上28

特 別
寄 稿

年 頭 所 感 オンリーワンへ正念場の年

中部ダイカスト工業協同組合理事長 松尾 精 介

新年あけましておめでとうございます。2015年の新春を、ご健康で迎えられたことと心よりお祝い申し上げます。

さて、「アベノミクス」の大胆な金融緩和と円安誘導で企業業績は好転し、株高傾向となり、景気回復へと導いているのは現実であり評価されます。しかし、その一方で、「アベノミクスはまだ道半ば」とは云え、円安により食料品やエネルギー、原材料の価格が上昇し、中小企業や家計を直撃し、国内の投資や消費が冷え込むという副作用と招いています。

現時点では「アベノミクス」の恩恵の配分には偏りがあります。例えば大企業と中小企業、輸出型企業と内需型企業、さらには高所得者と低所得者、都市と地方とでは格差が大きくなっています。

この配分格差の解消に向け、どう軌道修正するのか、2年前の安倍内閣発足時に描いた理想のシナリオの中・後半通り、雇用・所得の拡大に続き⇒消費と設備投資の拡大⇒物価上昇（インフレ）⇒内需産業⇒中小零細企業の収益増加⇒最終章である『本格的な景気回復』を大いに期待したいと思います。

しかし一方では、我々中小企業自身が自助努力を怠ることは許されません。ものづくりの原点に回歸し、自社技術のさらなる深耕、カイゼンにより「品質・コスト・納期」の再構築が必要不可欠と考えます。

品質においては、大手自動車メーカーでの重大なリコールに見られる通り、品質問題が会社存続まで影響を及ぼしかねないことを思い知らされました。競合他

社に先んじる為に開発を急ぎ、技術・生産の作り込みを怠り、品質保証を軽んじた結果が招いた大問題だといえます。改めて品質の重要性を再認識しなければなりません。

原価においては、円安によるアルミ材料や副資材等の高騰、エネルギー価格の上昇が我々内需型中小企業の収益を圧迫しているのは現実であります。

しかし外部要因だと指をこまねいている訳にはいきません。調達方法・手段をフレキシブルに見直し、省エネ活動にも本腰を入れて取り組む必要があると考えます。加えて、予てからのシュールガスの実用化が進みつつあり、それに伴い原油価格は下落傾向にあります。エネルギー多消費型のダイカスト産業にとっては、明るい未来の兆候といえましょう。

納期を支える技術・生産においては、熾烈な国際競争の中、ユーザーへの価格転嫁は難しく、自社での原価・経費の効率化や先進的且つ地道な改善を図って強靱な企

業体質を構築していかなくてはなりません。日本にしかできない高品質の付加価値のあるダイカスト製品を作ること。決してナンバーワンでなくてもオンリーワンのものづくりがストップ産業空洞化だと信じて疑いません。

生き残りを掛けた正念場の年と成り、21世紀は勉強する者しか生き残れないと確信します。本年も元気で企業活動にご一同邁進されることを心より祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

(ダイキャスト東和産業株式会社 代表取締役)



第31回 商売繁盛・交通安全 祈願会

1月16日 三ヶ根観音

1月16日（金曜日）、アスカ工業株式会社の原料納入事業所代表の80名は三河湾国定公園吉良温泉の吉良観光ホテルに参集して、午後3時より同ホテル会議室に於て天野久会長の「末年を占う」と題する新春放談会を開催した。

引きつづきバスで三ヶ根山頂の三ヶ根観音に参詣、平成27年の商売繁昌と交通安全の祈願会を行った。三ヶ根観音堂守は厳かに護摩を焚き、音吐朗々般若心

経を誦し、参詣者一名一名の住所氏名を高らかに名乗り、七難即滅、七福即生を一心に祈願した。

そして、お札とお供物を拝受して下山した。三ヶ根山頂は雲一つない冬晴れで、眼下に三河湾の絶佳の眺望が広がり、眞赤な夕日を浴びて一同平成27年の開運招福はうたがい無しとの自信を深めた。

入浴小憩後、6時30分より大広間に参集の一同は、盛大な新年宴会を催した。岡谷鋼機株式会社名古屋本店非鉄金属部長吉田寛氏の乾杯で開宴、夜半の2次会に至るまで時間を忘れて大いに盛り上った。

盛大な新年宴会を目度く終了し、一泊してお開きとなった。吉例のアスカ杯新春ゴルフ・コンペは17日午前吉良カントリー・クラブで熱戦が展開され、下記の皆さんが目出たく入賞した。

- 優勝 緒纈 三男氏（エネロップ）
- 準優勝 楠本 敏久氏（阪和興業）
- 第3位 東明穰太郎氏（東栄商店）
- B B賞 柘植 茂雄氏（アスカ工業）

写真上・天野久会長の新春放談。 写真下・大宴会場の天野卓社長開宴のあいさつ。

第31回アスカ工業(株)祈



新春放談

私の戦争

アスカ工業株式会社取締役会長 天野 久

新春吉例の祈願会が第31回を迎え、連続31回の新春放談が出来ることは、ご参会の各位の厚いご支援のおかげと心からご厚礼を申し上げます。

私の戦争

第二次世界大戦（太平洋戦争）が日本の大敗けに終って70年過ぎ、戦争を知る日本人は間もなく居なくなる。本日は戦争の生き証人の1人として「私の戦争」をお話したい。私と戦争のかかわりは、

- ・昭和6年（幼稚園児） 満州事変（満州へ出兵）
- ・昭和7年（幼稚園児） 上海事変（上海へ出兵）
- ・昭和12年（小学校5年） 支那事変（中国へ出兵）
- ・昭和16年（旧制中学3年） 太平洋戦争（米英と開戦）
- ・昭和20年（東京物理2年） 終 戦

と幼児期から青年期まで延々と途切れることなく戦争が続き、この長い期間に、国内・国外に大きな人的・物的損害を与え、同時に深い人間不信の不幸を社会に残すことになった。

戦争中の国民生活は、物理的には大いに困窮したものの、世間に秩序が存在した。しかし戦後数年間の日本の大混乱時代は、異常で形容しがたい暗黒の時代を経験した。

神宮の森で詠む

学生は「学徒動員」で軍需工場で働く。私は東京航空計器へ通っていた昭和20年5月25日夜、アメリカの爆撃機が投下した焼夷弾が下宿を直撃、2階にいた私は階下を見ると火の海で、とっさに2階から庭へ飛び降り、風下へ風下へと火に追われ、明治神宮の森で夜の明けるのを待った。

気が付くと、顔面の右半分が火傷して（今日でも右の眉毛がない）いたが、手足が動けば負傷者のうちに入らない。おにぎり1個と国鉄無料券だけ貰って西尾へ帰ることが出来た。今日に至るまで、あのとき無数の罹災者に配布した大量のおにぎりが如何にして即座に大混乱の中で調達できたか全く不思議に思う。

このとき明治神宮の森で書いた20才の若者の感傷が残された手帳が手元にある。

- ・焼夷弾直撃を受け2階より 転げ落ちたり光の真中
- ・轟音と共に我が顔火を浴びぬ 家全体は火となりは

てで

- ・空も家も人も草木も赤く染まり 家あとにして立ちのくころ
 - ・赤き太き火の粉さかんに流れ出て 我が家の方を振り返り見つ
 - ・既に無き我が家我が部屋なつかしき 記憶つきせぬ神宮の苑に
 - ・生と死の境を過ぎて新しき 力湧き出づ御苑の朝
- これを見ると、若気の至りと言うべきか、生死の間にあっても意外に冷静なものだと感心するが、戦争中の異常心理で生死は運次第という諦めの境地かも知れぬ。

終戦前後

住む所を失ったが、親戚友人の家に転がり込み、東京航空計器へまた通い始めた。部品管理係に配属されていたが昭和20年夏には部品の欠品が目立ち、8月10日すぎ名古屋市熱田区の部品工場へ部品を受取りに行くよう命ぜられた（部品の大部分は極めて小さく天秤で数量を計算した）。8月14日に熱田区の指定先へ出向いて驚いた。一面の焼け野原で、人影は全くない。これでは部品の製作や納入どころではない。

8月15日正午、JR安城駅で玉音放送を聞き、東京行の鈍行に乗った。驚いたことに、東京までの各駅でドラム缶で書類を盛大に焼却していた。

学校へ顔を出したら、すぐ授業をするというので驚いた。化学実験の助手曰く「お前らの死ぬだけの青酸カリは充分ある。死ぬまで学問だ！」男子はみんなアメリカで奴隷にされるという噂が真面目に話される世間とは1ヶタ違っていた。

学校が始まり、東京航空計器へは出張の顛末を報告することはなかった。9月に学校の会計から呼び出しがあり、望外の給料が届けられ驚いたが、この出張の無報告は我が一生の負担だ。

大暗黒時代

敗戦直後の5年間は大混乱の暗黒時代で、筆舌の及ぶものではない。占領地と植民地から大量の軍人と民間人が帰国した反面、家屋は空襲で焼失210万戸、強制とりこわし55万戸が無くなり、450万戸が不足して

住むところがない。

食料はじめ消費物資は価格と流通を戦争初期以降国家管理していたが、絶対量の不足とヤミ市場への流出は、想像を絶する猛烈なインフレーションを招き、昭和21年には銀行預金の封鎖まで断行したが大混乱は加速した。

転機の朝鮮戦争

昭和25年朝鮮戦争が始まり米国の対日政策が一変、戦争中の指導者の公職追放令が解除され、1万人の軍人幹部と政界、経済界の幹部の現役復帰を認めた。一方米軍特需により産業界は急速に復旧し、自衛隊の前身警察予備隊が発足して、最暗黒の5年間が終わり、復興への足掛かりを得た。

その反面、この米国の対ソ反共産主義政策の断行は、天皇制の継続を始め戦争責任の追及を放棄した為、日本人から責任あるいは責任感という言葉と精神を失わせた。当時多感の青年時代の私は、「一億一心、天皇の為に一死奉公」と叫んだ指導者が、一夜明ければ「一億総ザンゲ、民主主義万歳」と臆面もなく叫ぶのを見て、今日に至るも指導者の大言と好言は決して信用しない。

戦場で、空襲で、戦中戦後の劣悪な生活環境と極端な食料不足で、多くの友人を若くして失った辛い記憶はいつまでも消えない。

ご清聴を感謝すると共に、新年も一層のご支援をお願い申し上げます。

社内情報

- ◎三ヶ根観音で七難即滅、七福即生は、
商売繁盛 家内安全 家運長久
悪難消除 病難消除 開運招福
交通安全

で、大そう厳肅な雰囲気で行われました。

- ◎例年のように、ご参会の皆様お揃いで、平成27年の開運招福の自信が深まりました。
- ◎盛大な祈願会が挙げて、厚くお礼を申し上げます。

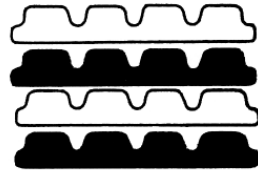
編集後記

- 中部ダイカスト工業協同組合松尾精介理事長様には年頭で格別にご多用のところ、昨年に引きつづき特別寄稿のご執筆をいただきました。心から厚くお礼を申し上げます。
- 業界多端の折柄、一段のご活躍をいただきますよう期待いたします。
- 中畑新工場で操業開始から2年半経過し、皆様のご支援で新鋭設備が順調に立ち上がりました。

アルミ缶リサイクルング 鋳造用アルミニウム合金地金



アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 審査登録

アスカ工業株式会社

〒444-0303
愛知県西尾市中畑町卯新田上28
TEL <0563> 77-0500(代)
FAX <0563> 77-0501
<http://www.al-asuka.jp/>